

平成 22 年 11 月 30 日
日本環境効率フォーラム

環境効率アワード 2010 決定のお知らせ

日本環境効率フォーラムは、このたび環境効率アワード 2010 の受賞企業を決定いたしました。審査の結果、経済産業省産業技術環境局長賞にユニ・チャーム株式会社の「ファクターを活用したエコラベル基準及び環境性能評価の仕組み導入」が決定した他、日本環境効率フォーラム会長賞 1 件、特別賞 5 件を選出しました。なお、今回は、奨励賞の該当はなしとなりました。

《詳 細》

【環境効率アワード 2010 の概要】

日本環境効率フォーラムでは、経済産業省及び日刊工業新聞社の後援を受けて、平成 17 年度より環境効率アワードを創設しました。環境効率(eco-efficiency)の概念は経済性の向上を通じて環境負荷の削減を目指すためのもので、製品の機能・性能の向上や企業の財務パフォーマンスの向上と同時に環境負荷を削減する尺度であり、産業界の様々な場面で適用され始めています。このような状況を踏まえて、活用実績やその発展と普及に特に優れた成果をあげたと認められる企業等を表彰するものです。

【表彰結果の概要】

(1) 経済産業省産業技術環境局長賞

製品活動部門	ユニ・チャーム株式会社 「ファクターを活用したエコラベル基準及び環境性能評価の仕組み導入」
--------	--

(2) 日本環境効率フォーラム会長賞

企業活動部門	東洋インキ製造株式会社 「環境調和効率指標導入による環境経営の推進」
--------	---------------------------------------

(3) 奨励賞

該当なし

(4) 特別賞

製品パフォーマンス部門	日本電気株式会社 「見える化の一步先へ！ユーザの利用パターンを学習し、PC消費電力を自動で最適制御する省エネ技術搭載ソフトウェア」
	株式会社東芝 電力流通・産業システム社 「長寿命による環境負荷低減を実現した二次電池 [SCiB] の開発」
	株式会社スプライン・ネットワーク 「トナーカートリッジの消費量を節約するソフトウェア「TonerSaver」」

マテリアルフロー コスト会計部門	美和ロック株式会社 「MFCA を活用した設計／製造連携による材料ロス削減の仕組み」
	株式会社駒ヶ根電化 「水リサイクルを中心とした自動めっきラインへの MFCA の導入・展開」

(5) 表彰式について

表彰式は、エコプロダクツ 2010（期間：12月9日～11日）が開催されている、平成22年12月10日（金）10：00より東京都江東区有明の東京ビッグサイト（西3ホール内ルームD）にて執り行なわれます。

【選考委員】（敬称略）

氏名	所属・役職
委員長 山本 良一	国際グリーン購入ネットワーク会長
委員 足立 芳寛	東京大学大学院工学系研究科教授
〃 辰巳 菊子	(社)日本消費生活・アドバイザー・コンサルタント協会常任理事
〃 中畷 道靖	関西大学商学部教授
〃 水谷 広	日本大学生物資源科学部教授
〃 村田 有	経済産業省産業技術環境局環境政策課環境調和産業推進室長

【日本環境効率フォーラムについて】

日本環境効率フォーラム（会長：山本良一国際グリーン購入ネットワーク会長、事務局：(社)産業環境管理協会）は2004年10月、経済産業省の支援を受け、企業、学識者等の参加を得て、環境効率の普及と実用化を目的として設立されました。約40社の企業・研究所・大学等が会員となって、セミナーの開催、ワーキンググループ活動などを通じて、環境効率の実践を提案しています。

お問い合わせ先

<p>事務局：日本環境効率フォーラム事務局 〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 社団法人産業環境管理協会 製品環境情報事業センター TEL/Fax：03-5209-7708 / 03-5209-7716 E-mail：eco-efficiency@jemai.or.jp</p>
